

# 文楽 Bunraku News 応援団通信

文楽  
応援団通信

第28号

2016. 1. 3



しんぼうたざいもん  
『新版歌祭文』

文楽応援団ホームページ

<http://bunrakuouendan.web.fc2.com>

文楽応援団ツイッター

<http://twitter.com/#!/bunrakuouendan>

QRコードはこちら



HP



Twitter

文楽応援団

検索

## 文楽応援団の自己紹介

Issued by Bunraku Ouendan

文楽応援団は文楽の普及・振興を目的とするボランティアのグループです

### おもな活動内容は

- ①文楽公演のポスター・ちらしを配布
- ②資料展示室における展示品の解説
- ③観劇のグループに公演のあらすじや見どころ聞きどころを解説
- ④劇場外での普及活動(文楽の楽しみ方などを解説)等々です

この他、文楽に関する学習会や懇親会なども行います

### 新規団員を募集します

文楽普及のために、あなたも応援団に参加してみませんか

国立文楽劇場の友の会会員であることが必要です

募集要領・申込用紙は国立文楽劇場1階展示室の文楽応援団連絡デスクにあります

締切は平成28年1月26日(火)です



こくせんやかっせん  
『国性爺合戦』

〒542-0073 大阪府中央区日本橋1-12-10

国立文楽劇場 事業推進課 文楽応援団担当

TEL 06 (6212) 5332 (直通) FAX 06 (6212) 1202

## 新支配人農端徹也さんの『文楽への思い』

今春文楽応援団の登録証伝達式で、新支配人農端徹也さんより登録証をお手渡しして頂きました。農端さんには、企画制作課長の時にもお世話になりました。

お時間を頂きお話しを伺いました。初めての就職先が当時の文楽協会、その後国立文楽劇場開場に伴い、数人と共に新しい劇場に移られたそうです。文楽の存在は知っていたけれど、文楽協会入社まで一度も文楽鑑賞の機会はなかったそうです。

初めての文楽の演目は、『妹背山婦女庭訓』『妹山背山の段』で、凄い迫力やなあと思われたそうです。初めて泣けたのは朝日座時代「岡崎の段」を観たときで、誰もいない二階の客席でポロポロ涙がこぼれたその時のことを覚えておられるそうです。

「文楽に関わってから、ずっと思っていることは、文楽を知らない人がいないようにしたいということですね。観る年代、時期によって感動が違います。近頃若いお客さんが増えてきています。今の学生さんは、観る機会が以前よりも多くて恵まれています。ただし、鑑賞教室公演は担当の先生に大きく左右されますので以前から劇場では、先ず新任の先生

に観て頂き文楽のことを知って頂く活動を行っています。また、企業にお勤めの方が海外の取引先の方と話をされて『日本の芸能』について何も語れないというのは残念です。外国の方々はインターネットなどで、文楽の情報をよくご存じの方も多いためです。

お馴染みのお客さんには今まで以上に満足して帰って頂きたい。『昔観たからもうええわ』『二度観たからもうええわ』ではなく、観る都度感動は同じではありませんので、厚かましいですが、公演中三回は観ていただけたら、といつも願っています。

文楽応援団さんには、充分文楽の普及に貢献して頂いているのですが、最近劇場外での活動が減っているように思います。こちら（劇場）から、イベントの時にお声掛けさせて頂きますので、お手伝いをよろしくお願いいたします。」

と、予定時間を超えて貴重なお話しをありがとうございました。

(文責 荒木・安藤)



国立文楽劇場支配人  
農端徹也氏

## やっぱり文楽はやめられない！

其の二十三

### 『町歩浪花鑑』

### 天王寺の段、浮瀬の段』

高橋 藤一郎

十月二十四日（土）、文楽応援団に入団して初めての町歩きに参加しました。午前中はJR天王寺駅から四天王寺まで竹本義太夫所縁の地を中心に歩きました。先輩の団員さんにはお馴染みの所だったのだと思いますが、私は初めてとても興味深かったです。

まず、谷町筋の「元祖竹本義太夫誕生地」の碑、次に庚申堂から竹本義太夫の墓のある超願寺へ。もともとの墓石も残っていましたが、剥離がひどく三百回忌に新しい墓を建てたそうです。

お参りのあと、北へ向かうと四天王寺の南大門です。『摂州合邦辻』の万代池の段でこの南大門が出てくると、団員の方に教えていただきました。その後西門近くの墓地に移動。ここは初代・二代義太夫、初代若太夫など偉大な浄瑠璃関係者の供養塔が並んでいます。また境内の北部の墓地には、義太夫の三味線だった初代竹澤権右衛門のとても大きな碑や近松に縁の坂田藤十郎の墓もあり、天王寺は上方の芸能にとって大切な場所だと改めて感じました。この墓地内には三代越路大夫など浄瑠璃関係者や大坂相撲の力士の墓があ

りました。五代竹澤権右衛門などいくつかの墓が無縁墓の整理対象になっているのが気になりました。

午後はいよいよ今日の眼目、大阪星光学院内「浮瀬」の見学です。生徒さんたちが部活動に汗を流している横を通って、校舎裏の「浮瀬」跡へ。ここは『双蝶々曲輪日記』の発端に出てくる当時の大坂を代表する料亭跡で、松尾芭蕉などの句碑が往時を偲ばせます。現在は木が繁っていて昔の話の様に眺望は楽しめませんでした。

次にこれも『双蝶々曲輪日記』に出てくる新清水寺は敷地のほとんどが霊園でしたが、コンクリート製の舞台があり、ここからの景色はよかったです。

次に向かった真田幸村戦没地の安居天神の崖の下は、徳屋の清水理兵衛が若き日の義太夫に出会った場所だそうです。

最後は『摂州合邦辻』の舞台、閻魔堂で解散でした。移動した範囲はわずかなものですがその中にこれほどの史跡があるのには驚きました。また今回、団員の皆さんのお話が聞け、とても勉強になりました。文楽がより身近に感じられ、これからも文楽を楽しんで行こうという思いを強くした町歩きでした。団員の皆さん、大阪星光学院関係者の皆さんありがとうございました。

「やっぱり文楽はやめられない！」



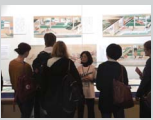
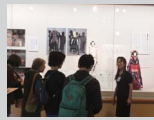
## 最近の活動風景



演目ゆかりの町歩き (京都編)  
2015.10.12



国立文楽劇場  
周辺町歩き  
2015.10.24



国立文楽劇場での解説風景 (2015年錦秋公演中)

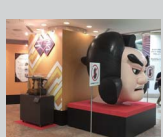
## まちで見かけた文楽



「文楽のポスター展」  
(関西国際空港)



「文楽のポスター展」  
(大阪市立中央図書館)



「まちなか文楽展」  
(ディアモール大阪)



「渡邊肇氏文楽写真展」  
(関西国際空港)

## 文楽応援団 東西と一さい



- \* 7月27日豊竹嶋大夫師が重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定されました。
- \* 10月29日吉田玉男さんが第50回大阪市市民表彰の文化功労部門において表彰されました。
- \* 渡邊肇氏「文楽写真展」が関西国際空港で開催されました。期間:8月12日(水)~8月30日(日)
- \* 「まちなか文楽展」がディアモール大阪で開催されました。  
期間:10月9日(金)~10月12日(月)
- \* 「につぼん文楽 in 難波宮跡」が開催されました。  
期間:10月17日(土)~10月20日(火)
- \* 文楽のポスター展が開催されました  
大阪市立中央図書館:10月16日(金)~11月4日(水)  
関西国際空港:10月19日(月)~11月4日(水)
- \* 文楽応援団 HP 来訪数が 74,100 人、  
文楽応援団Twitterのフォロワーが 1,496 人になりました。(2015.12.12現在)
- \* 次回公演予定  
東京:2月6日(土)~2月22日(月)  
大阪:4月2日(土)~4月24日(日)  
(13日(水)は休演)

## CHIKAMATSU'S HISTORY PLAYS

Bunraku's greatest playwright, Chikamatsu Monzaemon (1653 – 1724), is most famous for his *sewamono* “domestic” tragedies, which caused a sensation by depicting urban commoners as heroes for the first time. Until then, bunraku had been true to its narrative roots in medieval military epics by staging only *jidaimono* “history” plays about aristocrats and warriors. The violence inherent in *jidaimono* was well suited to the primitive dolls, which could actually lose their heads and limbs in battle scenes.

Chikamatsu also turned out standard *jidaimono* fare for bunraku both before and after his first *sewamono* in 1703. His first play in 1683 featured the popular 12<sup>th</sup> century warriors, the Soga brothers. This was followed in 1685 by *Shusse Kagekiyo*, still performed, which dramatizes the career of a medieval superhero in spectacular fashion, including a famous prison break-out scene in which he smashes the bars and chains that bind him.

Many of Chikamatsu's *jidaimono* continue to be staged. Perhaps none is as popular as this month's *Kokusenya Kassen*, a fantastical play of epic proportions, inspired

by a historical Chinese pirate named Coxinga in the late Ming dynasty. First staged in 1715 in an unprecedented 17-month hit run, it established Chikamatsu in prominence and was immediately copied by kabuki, which also continues to produce it. There are even modern versions from the 20<sup>th</sup> century. The complete bunraku production would last 14 hours, and is a masterpiece of composition containing, along with its many hair-raising adventures, a variety of language styles from the colloquial to the virtuoso, and even some fake “Chinese.” Its exotic overseas settings and characters, including the fabulous tiger, were enormously attractive to a public forbidden by the shogunate to travel outside Japan, and help account for its continued popularity. It is also the only Chikamatsu play whose original musical score survives. For 300 years it was so rarely out of production that the music was never lost.

Faith Bach  
Earphone Guide

- 7/18 夏休み文楽特別公演初日。展示室解説、演目解説など、8月3日まで。  
応援団通信第27号、3,000部発行。
- 8/ 8 スタッフ会議。出席:10人。
- 8/22 第5回研修会。出席:40人。学習会「解説で気になったことを一言」
- 9/ 4 第5回研修会報告書発送作業。世話人:松井、安藤。
- 9/25 上方芸能社より取材。荒木、齋藤、安藤。
- 10/10 スタッフ会議。出席:9人。  
町歩き下見。庚申堂、超願寺、四天王寺など。  
参加者:馬越、荒木、長、榎田。
- 10/12 演目ゆかりの町歩き。清水寺、神泉苑。参加者:榎田、長、齋藤。
- 10/17 第6回研修会。出席:46人。解説日程調整。  
錦秋公演演目説明、見所解説。担当:藤田。  
学習会「昭和49年の神泉苑の段」を鑑賞。
- 10/24 町歩き。庚申堂、超願寺、四天王寺、浮瀬、新清水寺、安居天神、  
閻魔堂。参加:15人。
- 10/27 第6回研修会報告書発送作業。世話人:松井、安藤。
- 10/28 活動写真ハコ制作。世話人:荒木、齋藤。
- 10/30 錦秋公演前準備。世話人:安藤。
- 10/31 錦秋公演初日。展示室解説、演目解説など、11月23日迄。
- 11/ 7 大阪あそ步より解説依頼。17人。担当:油田(名)、岡持。
- 11/10 I・T・C北大阪より解説依頼。20人。担当:荒木、折井、齋藤、榎田、立川。  
ラジオ大阪「べっぴんラジオ」に生出演。安藤。
- 11/11 大阪青山学園より解説依頼。34人。担当:折井、河野、羽田、吉田。
- 11/13 大阪あそ步より解説依頼。7人。担当:荒木、折井、齋藤、安藤。
- 11/14 もう一つの旅クラブより解説依頼。12人。担当:馬越、折井、齋藤、安藤。
- 11/17 農端支配人にインタビュー。担当:荒木、折井、安藤。
- 11/20 天王寺中学より解説依頼。24人。担当:荒木、伊興田、谷野。
- 11/28 スタッフ会議。出席:9人。
- 12/ 4 応援団通信第28号編集会議。出席:2人。  
HP委員会。出席:6人。
- 12/12 第7回研修会。出席:50人。解説日程調整。  
初春公演演目説明、見所解説。担当:藤田。  
2つの文学碑の清掃。出席:20人。
- 12/18 HP委員会。出席:4人。
- 12/22 第7回研修会報告書発送作業。世話人:松井、安藤。
- 12/25 活動写真ハコ制作。世話人:荒木、齋藤、安藤。

## 文楽公演

平成28年3月

## 地方公演スケジュール

【主催】文楽協会 【後援】文化庁

### ユネスコ無形文化遺産、人形浄瑠璃文楽。

演目【昼の部】「解説」『団子売』『心中天網島』「天満紙屋内の段」 「大和屋の段」 「道行名残りの橋づくし」  
【夜の部】「解説」『絵本太功記』「夕顔棚の段」 「尼ヶ崎の段」 『日高川入相花王』 「渡し場の段」

#### 地方公演チケットお問い合わせ先

2月27日(土)	米子市公会堂(鳥取県米子市)	0859-38-5127	12日(土)	浜北文化センター(静岡県浜松市)	053-586-5151
28日(日)	倉敷市芸文館(岡山県倉敷市)	086-434-0010	13日(日)	姫路市文化センター(兵庫県姫路市)	079-298-8015
3月1日(火)	能登演劇堂(石川県七尾市)	0767-66-2323	18日(金)	あましんアルカイックホール・オクト(兵庫県尼崎市)	06-6487-0810
5日(土)	JMS アステールプラザ(広島県広島市)	082-244-8000	19日(土)	三重県文化会館(三重県津市)	059-233-1122
6日(日)	戸畑市民会館(福岡県北九州市)	093-562-2655	20日(日)	京都府立文化芸術会館(京都府京都市)	075-222-1046
8日(火)	大田区民プラザ(東京都大田区)	03-3750-1611	21日(月・祝)	京都府立文化芸術会館(京都府京都市)	075-222-1046

文楽応援団通信 第28号 2016年1月3日

編集・発行 文楽応援団(年2回発行予定)

連絡先 〒542-0073大阪府中央区日本橋1-12-10

国立文楽劇場 事業推進課

TEL06-6212-5332(直通) FAX06-6212-1202